様式３の別添２

研究内容説明書
複数施設研究用

作成日：2022 年　9 月　29 日

研究協力のお願い

昭和大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

脳卒中片麻痺者における起立動作の運動学的・運動力学的・筋電図学的特徴
１．研究の対象および研究対象期間 2014 年 1 月から 2020 年 3 月に中伊豆リハビリテーションセンターに入院し、立ち上がり動作の三次元動作解析を行った方。
２．研究目的・方法 立ち上がり動作では、脳卒中片麻痺者において低下する体幹機能と身体重心を前方に加速するための運動学・運動学的要素が重要であるといわれています。脳卒中片麻痺者ではこれらの機能が低下するといわれているため、この要素に着目し、立ち上がりを困難にしている要因を検討します。この要因が明らかになれば、効果的・効率的なリハビリテーションの介入方法の確立に寄与でき、発展性のある研究であると考えています。 **研究期間** 保健医療学研究科人を対象とする研究等に関する倫理委員会（現：昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会）承認後、研究機関の長による研究実施許可を得てから 2025 年 9 月 26 日まで
３．研究に用いる試料・情報の種類 三次元動作解析装置を用いた計測データ、生年月日、疾患名、発症日、身長、体重、麻痺の程度等の身体機能評価
４．外部への試料・情報の提供 個人情報の保護に関しては分析開始の時点で個人を識別できない形に符号化を行います。すなわち、診療情報から個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し、独自の記号を付すとともに対応表を作成します。これによりどの研究対象者の試料・情報であるか直ちに判別できないよう加工します。個人の識別情報（氏名、住所、生年月日、電話番号）に関しては研究代表者以外が閲覧できないようパスワードで保護された外付けハードディスクドライブに保存し、施錠可能な場所に保管します。 昭和大学（提供先）は、得られた全ての情報を提供先の上條史子の責任において研究終了後 5 年間保存・管理します。発表に際しては属性や医療情報などから個人を特定されないよう十分に配慮いたします。

５．研究組織

情報の提供のみを行う機関及び提供責任者

農協共済中伊豆リハビリテーションセンター　紅野利幸

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
所属：昭和大学　藤が丘リハビリテーション病院　　研究責任者および研究代表者：本島直之
住所：〒227-8518　神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1　　電話番号：045-974-2221　照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：